

いうまでもなく、これら利用運送事業者の存在はプラスとマイナスの両面がある。プラス面は、実運送事業者からすると営業経費をかけずに帰荷を確保でき、実車率の向上が図れる。また、各事業者が帰荷の獲得で競争するよりも、運賃の下落が抑えられる。

マイナス面は、多層構造を促進する面があることだ。利用運送事業者から斡旋された荷物を、さらに外注に出すといった形での多層構造化もみられるようになつた。もちろん、一定の元請下請構造は、需要の波動調整などからも必要だが、右から左に荷物を回すだけの事業者も現れ、5次、6次あるいはそれ以上の多層構造も出現した。これは実運送事業者の運賃を下げるだけでなく、サービス品質という面からも問題がある。多層構造による品質低下という問題もこの30年間には浮上してきた。

品質チェックができない。このため、多層構造による運賃水準の低下は実運事業者のコストの削減に繋がり最終的にはドライバーのしわ寄せによってサービス品質の悪化を招くのである。例えば過労運転や過積載、スピード違反といったサービスの生産過程における「不良」があつても、結果オーラインならチェックできない。(つまり、事故などが発生してからの事後チェックになってしまいます。

送るそとへスカイ反転産業の貿易に就いては、Gマークなどとして実現することになった。

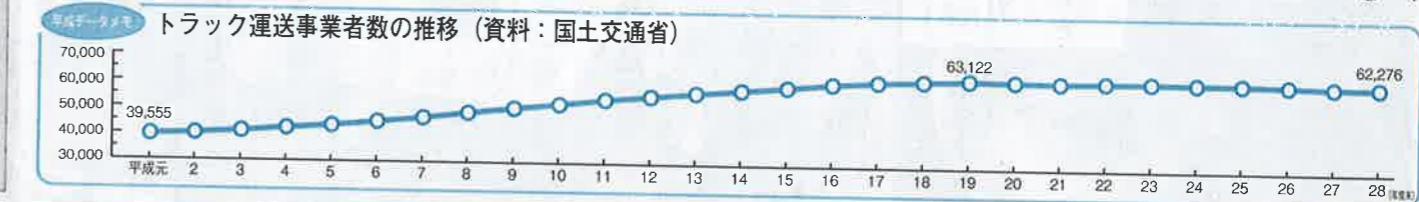
Gマークも徐々に浸透してきた。最初はGマークの取得に消極的な事業者も存在した。一方、Gマーク取得事業者からは、コンプライアンス・コストなどの面でハンデがあるという声もあった。そのギャップを埋めるためのインセンティブも考えられた。だが、それはコンプライアンス・コストをかけていない事業者が圧倒的に多く、その事業者のコストがベースになつて市場価格（実勢運賃や料金）が決まつていたからである。

しかし、長期的視野からみると、Gマークなどの客観的品質を取得した事業者が圧倒的多数になれば、それらの事業者のコストがスタンダードになつて、市場価格が決まつくることになる。それは同時に、業界の評価の向上を意味するのである。

平成データメモ

トラック運送事業者数の推移（資料：国土交通省）

年	事業者数
1990	51,000
1991	51,200
1992	51,400
1993	51,600
1994	51,800
1995	52,000
1996	52,200
1997	52,400
1998	52,600
1999	52,800
2000	53,000
2001	53,200
2002	53,400
2003	53,600
2004	53,800
2005	63,122
2006	62,800
2007	62,500
2008	62,200
2009	62,000
2010	61,800
2011	61,600
2012	61,400
2013	61,200
2014	61,000
2015	60,800
2016	62,276



# トラック用リビルト ターボチャージャー

**ITS** 株式会社ターポテクノサービス 〒146-0093 東京都大田区矢口3-28-1-309 TEL:03-3758-3381 FAX:03-3758-3383  
株式会社エコロジーターボサービス 〒146-0093 東京都大田区矢口3-28-1-308 TEL:03-5741-1511 FAX:03-5741-2211

# 検査車両撮影システム **CS-Photo α6**

- ・検査ラインとの連動で車両を6台のカメラで自動撮影し、お客様の管理と共にコンプライアンスを強化します。
- ・カメラは最大12台までの接続が可能です。

販売元 株式会社 イヤサカ

Copyright © 2003 by Pearson Education, Inc., publishing as Pearson Addison Wesley.

大型門型洗車機  
ビッグウォッシャー

使用水量は1往復190Lの節水仕様(10tクラス)  
洗車に伴うスタッフへの負担を軽減させ、業務の効率化を  
サポートします。

東区湯島 3-26-9  
3-5688-7074 <http://www.iyasaka.co.jp>

# トラック用リビルト ターボチャージャー

**ITS** 株式会社ターポテクノサービス 〒146-0093 東京都大田区矢口3-28-1-309 TEL:03-3758-3381 FAX:03-3758-3383  
株式会社エコロジーターボサービス 〒146-0093 東京都大田区矢口3-28-1-308 TEL:03-5741-1511 FAX:03-5741-2211